

北海道との連携と協力に関する協定の締結について

～北海道の翼として地域社会の発展に貢献～



北海道国際航空株式会社(本社:札幌市、代表取締役社長:齋藤貞夫)は、北海道と、本日11月28日(月)、北海道の活性化に向けて、相互に連携・協力しながら協働事業に取り組む協定について、締結いたしました。北海道の「食」、「観光」、「環境」、「人づくり」、「情報発信」等について、地域に密着し、積極的に情報発信や活動に参画することを通じて地域社会の発展に貢献してまいります。

記

【主な取り組み】

1. 北海道の魅力有る「食」と「観光」の振興に関する事項
 - 1-1. 北海道の「食」の振興
 - ・機内誌「rapora(ラポラ)」を活用した北海道の「食」に関するPR
 - 1-2. 北海道農業・農村に関するPR
 - ・機内における北海道農業・農村に関係する映像の放映
 - 1-3. 道産食品の販路拡大
 - ・機内での飲み物サービスで、「道産原料」の水やジュース類を利用
 - 1-4. 北海道の「観光」の振興
 - ・機内誌「rapora(ラポラ)」を活用した北海道の「観光」に関するPR
 - ・搭乗者に対する北海道観光・北海道遺産等に関するパンフレットの配布
 - ・機内における北海道観光映像の放映
2. 北海道の豊かな「環境」の保全に関する事項
 - 2-1. 森林づくりを通じた環境保全活動
 - ・「ほっかいどう企業の森林づくり」や「道民の森」を活用した植樹活動の取組
 - 2-2. 地域の景観づくりへの取組
 - ・地域の景観づくりに取り組む「北海道景観づくりサポート企業」として本制度に登録
3. 北海道を支える「人づくり」に関する事項
 - 3-1. 航空教室等の実施
 - ・パイロットや客室乗務員、整備士等による職業教育の実施
4. 北海道の情報発信に関する事項
 - 4-1. 道政広報への協力
 - ・機内誌「rapora(ラポラ)」を活用した道政広報への協力

以上